

競争入札経過調書（総合評価落札方式(除算方式)）

件 名 東京国際空港接車帯路面標示書換工事

開 札 年 月 日 令和7年7月16日 （落札決定日 令和7年7月30日 ）

入札執行官署 東京航空局

落 札 金 額 ￥ 25,773,000 -

落 札 者 株式会社アイエスクルー

予 定 価 格 ￥ 32,285,000 -

積 算 額 ￥ 32,285,000 - 入札書比較価格（予定価格の100/110） ￥ 29,350,000 -

調 査 基 準 価 格 ￥ 29,029,535 - 調 査 基 準 価 格 の 100/110 ￥ 26,390,487 -

基 準 評 価 値 340.715

低入札価格調査実施済 第1回 落札

入札参加者	評価点 (満点 122点)	第1回入札			第2回入札			摘 要
		入札金額	評価値	評価値 ≥ 基準評価値	入札金額	評価値	評価値 ≥ 基準評価値	
株式会社アイエスクルー	102.0	23,430,000	435.339	○				第1回 落札

※ 入札金額は入札者が見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額である。
※ 予定価格（入札書比較価格）の範囲内の入札金額であり、評価値の最も高い者を落札者とする（なお、その範囲に満たない入札金額の場合は、各点数を表示しない。）。
※ 評価値は、評価点を各回入札の入札金額（億単位換算）で除して算出する（小数点以下第3位まで表示）。
※ 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10%に相当する額を加算した金額（1円未満の端数は切り捨て。）をもって落札金額とする。

評価点内訳（施工能力評価型Ⅱ型）

件名：東京国際空港接車帯路面標示書換工事

(確定値)

[illegible]

低入札価格調査の実施概要

工 事 名：東京国際空港接車帯路面標示書換工事

調査を実施した業者名・住所：株式会社アイエスクルー 福島県福島市仁井田字上台3

項 目	内 容
① その価格により入札した理由	調査対象者は、本業務の入札にあたっては、公示内容、特記仕様書から、業務内容を十分に把握し、必要な作業人工を協力会社と協議、検討を行った上で見積を入手し、業務に精通している作業員を配置し、適切に作業をこなすことが出来るように検討しており、適正な直接工事費を計上している。 また、調査対象者は本工事において、別工事で手配した東京都練馬区内の事務所を工事拠点として使用予定であるため、現場事務所の営繕等に係る諸経費を最小限に抑えることができている。 上記の他、建設業界の受注状況等を踏まえ、受注実績の確保、技術力の向上等を考慮した結果、今回の応札価格に至っている。
② 契約対象工事付近における手持工事の状況	手持ち工事の状況として、対象工事現場付近及び対象工事関連については0件であり、配置技術者の手持ち工事が過重といった面において問題はないといえる。 また、配置予定技術者についても必要な資格を有する者の配置が確認出来た。
③ 契約対象工事に関連する手持工事の状況	同上
④ 契約対象工事箇所と入札者の事業所、倉庫等の関連（地理的条件）	調査対象となる事務所、倉庫等は東京都町田市に所在し、工事期間中（準備等を含む）は現場への移動により対応することを確認した。 また、必要な資機材の搬出入についても工事箇所の進捗に応じ対応する予定であることがヒアリングを通じ確認出来た。
⑤ 手持資材の状況	本工事において必要な手持ち資材は無い。
⑥ 資材購入先及び購入先と入札者との関係	資材購入先は、協力会社と取引実績がある業者となる予定であることが確認出来た。
⑦ 手持機械数の状況	本工事において使用する手持ち機械は、協力会社が保有するものを使用する予定であることが確認出来た。
⑧ 労務者の具体的供給見通し	予定下請人から労務者を確保予定であり、職種、人員数共に適切に施工が可能な労務者配置計画であることを確認した。
⑨ 過去に施工した公共工事名及び発注者	本工事と同種と該当する工事実績（舗装工事、等）として、「青森運輸支局検査コース区画線引き工事」（令和6年度）国土交通省東北運輸局青森運輸支局「飛行場誘導路区画復旧役務」（令和6年度）防衛省陸上自衛隊木更津駐屯地をはじめ、他3件であった。
⑩ 経営内容	過去にも多くの官公庁発注の工事を受注しており問題無い。
⑪ 1から10までの事情徴収した結果についての調査検討	調査の結果、共通仮設費、現場管理費及び一般管理費等の低価格が原因であることを確認した。 共通仮設費及び現場管理費には工事現場に係る費用、手当や法定福利費等の現場に必要な経費が計上され、一般管理費等についても必要な経費が計上されていることを確認した。 履行実績としては他官庁が発注している同種・類似実績を持っていることを確認した。 履行体制においては、配置予定技術者は業務の遂行に必要な資格・実績を有し、技術力を備えていることから、業務内容に照らし妥当であると思慮される。 以上の結果、今回の入札額は調査対象者における公共工事の実績を得る目的により、現場施工に必要な経費（直接工事費）は官積算と同等としつつも、受注者としての利益を最小限に抑えた価格であり、過去の公共工事実績からも施工面についての問題はないと考えられるため、契約の内容に適合した履行がされない恐れがあるとは認められず、本工事の契約履行は問題ないと判断できる。
⑫ 公共工事の成績情報	過去の実績において概ね良好に施工されている。
⑬ 経営状況	特に問題なし。
⑭ 信用状況	特に問題なし。
⑮ その他の必要事項	特になし。